大活躍の一年

■市長　久慈市の魅力を全国に発信するきっかけとなった連続テレビ小説あまちゃん。昨年は「あまちゃん効果」によって、これまでに例がないほど多くの観光客の皆さんが当市を訪れてくださいました。

　また、三陸復興国立公園の指定や三陸ジオパークの日本ジオパーク認定、さらに環境省が進める「みちのく潮風トレイル」八戸・久慈間が先行整備された年でもあり、今後も多くの皆さんが当市を訪れると思います。

　本日は、あまちゃんのロケ地観光や三陸ジオパークなどで、まちおこしに取り組んでいる方々にお集まりいただきました。まずは、大いに盛り上がった昨年を振り返り、どのような思いで活動してきたのかお聞かせください。

■弐又　4月から小袖海岸の観光ガイドとして、10人のメンバーと協力しながら活動しています。かすり半てんを着て、主に小袖漁港に設けられた駐車場付近での案内や誘導のほか、小袖海岸であまちゃんに関することを中心にガイドを務めました。

　マイカー規制が終わった現在でも、小袖海岸には多くのお客さまが来ていますので、手厚くガイドを続けています。

■中野　小さい赤ちゃんから小学3年生までの子どもたちで構成される「ちびっこあまちゃん隊」に子どもが参加しています。久慈春まつりを皮切りに、市内を代表するお祭りやイベントのオープニングセレモニーで餅まきや開会宣言などを行ってきました。大きい子どもたちは甘酒の振る舞いや観光客への応対、雑誌の記者からのインタビューや写真撮影も行いました。

　子どもたちの衣装は全て手作り。私たちの世代では和裁が上手くできる人が少ないので、おばあちゃん達の世代に聞いたり、教えてもらいながら活動してきたので、三世代で交流しながら一緒に活動したという印象があります。

■柾木　久慈まめぶ部屋は4年前から活動しています。あまちゃんの中で「あんべちゃん」がまめぶを持って登場したことで、昨年はかなりの反響がありました。部屋の活動がなければドラマの中にまめぶが登場することはなかったし、市民の皆さんもまめぶを知らなかったと思います。

　久慈まめぶ部屋の活動目的はまちおこし。そのツールがまめぶだっただけです。愛Bリーグに加盟する他の団体も、まちおこしの発表の場という位置づけでB-1グランプリに参加しています。昨年のB-1グランプリでは64団体中5位入賞と誇るべき順位ですし、私たちの4年間の活動が報われたと思っています。

ちびあま隊を支える三世代の交流と活動

中野　真琴　さん

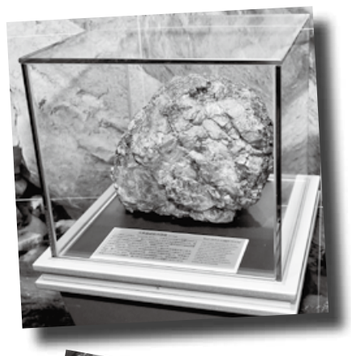
●なかのまこと●ちびっこあまちゃん隊の保護者。子どもが参加するイベントに同伴し、他の隊員の保護者らと一緒にちびっこあまちゃん隊を支えている

もちまきでイベントを盛り上げるちびっこあまちゃん隊

新・観光交流都市

ジオとあまちゃんでまちおこし

連続テレビ小説あまちゃんの放送をきっかけに、全国から注目を浴びた久慈市。私たちはドラマを通じて地元の魅力に気付くことができました。さらに三陸ジオパークが日本ジオパークに認定。新たなまちおこしを感じさせる一年でした。今年の新春座談会のテーマは「新・観光交流都市」です。これからのまちおこしに向けて取り組む6人の思いと決意を伺いました。　（7ページまで）



対談者

山内 隆文　市長
梶田 民夫　さん　北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会会長
金野 淳一　さん　三陸鉄道株式会社 運行本部長
柾木 之弥　さん　久慈まめぶ部屋 事務局長
工藤　彩　さん　久慈琥珀株式会社 博物館グループ学芸員
中野 真琴　さん　ちびっこあまちゃん隊 保護者
弐又 真美　さん　やませデザイン会議 観光ガイド